【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和4年9月8日(2022.9.8)

【国際公開番号】WO2021/157209
【出願番号】特願2021-575640(P2021-575640)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｊ 35/00(2006.01)
Ｂ６０Ｋ 15/05(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｊ 35/00 Ｄ
Ｂ６２Ｊ 35/00 Ｚ
Ｂ６０Ｋ 15/05 Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和3年6月25日(2021.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ハンドル（１３）と、
シート（３８）と、
前記ハンドル（１３）と前記シート（３８）の間に設けられ前後に延びるセンタートンネル（６２）と、
燃料タンク（３７）と、
前記センタートンネルを形成し、前記燃料タンク（３７）を覆うカバー（Ｃ）と、
前記カバー（Ｃ）に開閉自在に設けられ、前記燃料タンク（３７）の給油キャップ（５０）を覆うリッド（４０）と、を備える鞍乗型車両（１）であって、
前記センタートンネル（６２）は、前方が高く形成されており、
前記リッド（４０）は、
ヒンジ軸（４８）を中心に回動するヒンジ部（４７）と、
前記給油キャップ（５０）を覆うキャップカバー部（４１）と、
前記ヒンジ部（４７）と前記キャップカバー部（４１）とを接続するアーム部（４６）と、を備え、
前記ヒンジ部（４７）は、前記給油キャップ（５０）が取り付く給油口（３７ｈ）より前方且つ上方に位置し、
前記アーム部（４６）と前記キャップカバー部（４１）との間には、前記リッド（４０）の開状態で下方に窪む凹部（４４ａ）が設けられ、
前記凹部（４４ａ）の少なくとも一部は、前記リッド（４０）の閉状態で前記給油口（３７ｈ）の前端部よりも前方に位置する、鞍乗型車両（１）。
【請求項２】
請求項１に記載の鞍乗型車両（１）であって、
前記凹部（４４ａ）は、前記給油キャップ（５０）の底面（５０ｂ）の外径（Ｗ５）よりも大きい、鞍乗型車両（１）。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の鞍乗型車両（１）であって、
前記凹部（４４ａ）は、前記リッド（４０）の開状態で、上方から見て略円形状を有す

る、鞍乗型車両（１）。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか一項に記載の鞍乗型車両（１）であって、
前記リッドの閉状態で、前記凹部（４４ａ）の下端が前記給油口（３７ｈ）より前方に位置する、
鞍乗型車両（１）。
【請求項５】
ハンドル（１３）と、
シート（３８）と、
前記ハンドル（１３）と前記シート（３８）の間に設けられ前後に延びるセンタートンネル（６２）と、
燃料タンク（３７）と、
前記センタートンネルを形成し、燃料タンク（３７）を覆うカバー（Ｃ）と、
前記カバー（Ｃ）に開閉自在に設けられ、前記燃料タンク（３７）の給油キャップ（５０）を覆うリッド（４０）と、を備える鞍乗型車両（１）であって、
前記センタートンネル（６２）は、前方が高く形成されており、
前記リッド（４０）は、
ヒンジ軸（４８）を中心に回動するヒンジ部（４７）と、
前記給油キャップ（５０）を覆うキャップカバー部（４１）と、
前記ヒンジ部（４７）と前記キャップカバー部（４１）とを接続するアーム部（４６）と、を備え、
前記ヒンジ部（４７）は、前記給油キャップ（５０）が取り付く給油口（３７ｈ）より前方且つ上方に位置し、
前記アーム部（４６）と前記キャップカバー部（４１）との間には、前記リッド（４０）の開状態で物品を載置することができる物品載置部（４４）が設けられ、
前記物品載置部（４４）の少なくとも一部は、前記リッド（４０）の閉状態で前記給油口（３７ｈ）の前端部よりも前方に位置する、鞍乗型車両（１）。
【請求項６】
請求項５に記載の鞍乗型車両（１）であって、
前記物品載置部（４４）には、底面（４４ａｂ）と、前記リッド（４０）の開状態で前記底面（４４ａｂ）の少なくとも一部に上方に突出する凸部と、が設けられている、鞍乗型車両（１）。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか一項に記載の鞍乗型車両（１）であって、
前記凹部（４４ａ）又は前記物品載置部（４４）の底面（４４ａｂ）には、前記給油キャップ（５０）のキャップ底面（５０ｂ）よりも狭い領域（４４ａｇ）が設けられている、鞍乗型車両（１）。
【請求項８】
請求項１～７のいずれか１項に記載の鞍乗型車両（１）であって、
前記アーム部（４６）は、
前記ヒンジ部（４７）に連結される第１アーム部（４６ａ）と、
前記キャップカバー部（４１）に連結される第２アーム部（４６ｂ）と、
前記第１アーム部（４６ａ）と前記第２アーム部（４６ｂ）とを屈曲しながら連結する屈曲部（４６ｖ）と、を備える、鞍乗型車両（１）。
【請求項９】
請求項１～８のいずれか一項に記載の鞍乗型車両（１）であって、
前記凹部（４４ａ）又は前記物品載置部（４４）は、底面（４４ａｂ）と、前記底面（４４ａｂ）の周囲を囲む周壁（４４ａｗ）と、を備え、
前記周壁（４４ａｗ）は、前記リッド（４０）の閉状態において下方に指向している、
鞍乗型車両（１）。

【請求項１０】
請求項１～９のいずれか一項に記載の鞍乗型車両（１）であって、
前記キャップカバー部（４１）は、前記リッド（４０）の開状態で、前記凹部（４４ａ）又は前記物品載置部（４４）から上方に延出する上方延出部を有し、
前記上方延出部には、前記凹部（４４ａ）又は前記物品載置部（４４）より前方に前記凹部（４４ａ）又は前記物品載置部（４４）を上方に投影した領域に窪み部（４１ｗ）が設けられる、鞍乗型車両（１）。